

全難聴女性部だより 第44号

令和2年8月26日発行 発行人：加藤千津子 編集：事務局

残暑お見舞い申し上げます



ご挨拶

部長 加藤 千津子

女性部の皆さまお久しぶりです。お変わりなくお元気でお過ごしのことと存じます。

この度、女性部長を拝命することになりました。宜しく願い致します。「あら加藤さん、また役員に戻ってきたの？」思われた方もいらっしゃると思います。

平成23年に初めて役員（副部長）に就任し2期（4年）務め、平成27年に事務局長を2期（4年）務め、昨年の横浜会議にて8年間の役員を退任したばかりでした。

それが、急に部長という大役の打診があり、迷い悩みましたが急遽お受けすることになりました。まさか部長を拝命することになるとは、思ってもいませんでした。本当に何が起こるかわかりませんね。受けた以上、地域の皆様のご意見ご要望をしっかりと受け止め役員一同真摯に向き合い、より一層励んでまいります。若輩者ではありますが、皆さまにご指導賜り務める所存です。どうぞよろしく願いいたします。

さて、世界中を不安にさらしている新型コロナウイルスですが、東京五輪も延期となり、私たちが1年で1度の楽しみにしている大分福祉大会も延期となりました。

女性部に於いても6月29日に京都市で県部長会議・第31回総会を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で書面決議となりました。

皆さまもご承知のように任期途中で部長、事務局長が辞任という前代未聞の事態が起きました。混乱の中、残された役員は本当によくやってくださいました。また、皆さまのご理解ご協力に助けられ無事に総会を終えることができました。この場をお借りして私からもお礼申し上げます。

それにしても緊急事態宣言が解除されましたが、その後の感染者が減少するどころか増える一方です。政府からは拡大防止をしながら、平穏な生活を取り戻すために、「人と人の接触を8割減らす10のポイント」や「新しい生活様式の実践」を発表しました。私たちにとってはマスクという壁（バリア）がより高くなりしたが、コロナ鬱にかかることが無いよう健康第一でともに乗り越え、来年の京都市での会議は笑ってお会いしましょう！皆さまのご健勝をお祈りしまして挨拶とさせていただきます。

令和2年度 役員会・県部長会・総会 報告

令和2年度、役員会・県部長会・第31回総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、京都での開催を中止し、すべて書面表決で行いました。

○令和2年度役員会

報告

・令和2年度より変更になった地域

- ①新潟県：窓口へ 今年2月の新潟県協会女性部総会で決定。
- ②和歌山県：脱退
- ③山口県：休部。ただし窓口担当を有延八千代様に変更
- ④岡山県：休部、島根県：廃部（各県窓口担当より）



議題

1 大分福祉大会について

バザーは開催すると前年度の役員会で決定。今後も大分県担当者と連絡を取り合う。

2 「だより」について

令和2年も8月号、1月号を発送する。

3 全難聴からの助成金について 昨年度より15万円に増額された。

4 規約の署名変更

本来役員会が開かれるはずだった6月27日付で藤岡央子から加藤千津子に署名変更。

5 次期会議と開催地

今年度中止となった京都市の理事長に打診、会場の予約と情報保障のご協力をいただけるが、その他は全難聴女性部でお願いしますというお返事があった。6月は総会が立て込むなどあり、観光日も入れて令和3年7月2日～4日の日程となる。

6 その他

(1) 役員の任期途中での辞任とそれに伴う新役員の就任

今年2月に蔦尾事務局長、4月に藤岡部長が辞任の意向を示し、役員会で承認された。部長の後任に岐阜県部長の加藤千津子様、事務局長の後任に佐藤事務次長を選任、役員会で承認された。

(2) 滋賀大会のバザー販売後の残品処理について

大会終了後バザー残品のうち、一部はリサイクルショップに持参した。今後、きこえのフェスタ開催予定なども含めて、バザー全般について役員会MLで相談する。

(3) 京都会議の担当について

準備の基本は事務局が行う。部長と事務局で情報共有し、進めていく。片山事務次長と高田監事にも協力依頼したところ、承諾を得られた。

○令和2年度県部長会

出席部長：14人（全員）

横浜市、川崎市、岐阜県、京都府、大阪府、大阪市、兵庫県、奈良県、
福岡市、茨城県、東京都、新潟県、神戸市、群馬県

6月17日、全員に案内、議案書、書面表決権利行使書をお送りし、27日までに全員から返信ハガキ及びFAXが届いた。

・第1号議案 2019年度総括報告（案）全員が賛成した。

（質問） 総括報告中、「規約の改定」「会計監査」について。元は「監事」。規約の改定とは違うのでは？

（回答） 長年総会資料の規約に「会計監査」と報告している。平成30年度の総会で、「監事」ではないかという質問が出たので、規約改正をして名称変更として正す必要が出てきた。

・第2号議案 2019年度決算報告（案）全員が賛成した。

（質問） 会計報告に会計の押印がない。

（回答） ミスではない。元年度の役員会で「監査報告に会計の押印不要」の意見があり、反対はなかった。色々調べ、監事とも相談の上監事のみ押印の決算報告を作成した。MLでも反対はなかった。

・第3号議案 監査報告 全員が賛成した。

・第4号議案 2020年度事業方針（案）全員が賛成した。

・第5号議案 2020年度予算（案） 全員が賛成した。

・第6号議案 2020年度役員体制（報告）

部長の藤岡央子さん、事務局長の蔦尾東紫さんが、それぞれ任期途中で辞任され、役員会で審議した結果、後任は下記のように決まった。

部 長 加藤 千津子（東海ブロック、岐阜県）

事務局長 佐藤 緑 （関東ブロック、茨城県） いずれも6月27日付

第一期目の任期は、規約九条第二項により令和3年の総会まで。

○令和2年度 第31回 定期総会

第1号議案から第6号議案に、全員が賛成した。



新役員就任あいさつ

事務局長 佐藤 緑

事務局長を拝命しました。よろしくお願い申し上げます。

集まるのもままならず新年度を迎えられた女性会員の皆様、眠れていますか？食べられていますか？色々ご心配やお悩みがおりとお察し申し上げます。

このたびの社会情勢に接して、思い出すことがあります。

平成23年青森大会の分科会で、女性部は東日本大震災の被災地で支援をされた資生堂のスタッフをお招きしました。そして、分科会の参加者は被災時におけるお肌の手入れやメイクアップについて学ばれました。私は別の分科会でしたが、後で報告集を読み、何回読んでも泣いてしまいます。

手でお肌に触れ、「大変でしたね」「お疲れでしたね」と声をかける。今年の緊急事態宣言解除直後は、それすら許されませんでした。再開したばかりのデパートの化粧品売り場では、テスターは使えず、店員さんはお客さんの肌に触れることができません。マスク姿で立ち尽くすばかりです。無念さを感じました。

任期中、私が女性部役員としてできること、お役に立てることは多くはないかもしれませんが、よろしくお願い申し上げます。



返信はがきから — 県部長のひとこと —

コロナ禍で大変な折、役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。8月までの企画は中止しています。これからは「新生活」に合った内容を考えていかなければと苦心しています。

6/8～体操教室「カーブス」が再開しました。週2～3回通って、なまった体にカツを入れています。

地元の協会の事だけで精一杯で協力できなくて申し訳なく思っております。これからもよろしくお願い申し上げます。

返信ハガキで、近況を寄せてくださった部長さんの一言をご紹介しました。「協会活動が全くできない」「中止になった」という声は、ほかの部長さんからもありました。

おわび だより第42号、第43号の訂正について

第42号

9ページ 退任役員のご挨拶

亡くなったとされていた方お二人のうち、一人はご存命でした。ご本人様、元役員の所属協会様には大変失礼をおかけしました。おわび申し上げます。

第43号

1ページ 新年のご挨拶

×情報ではこの競技場にはヒアリンググループ席があり、その座席に耳マークが付いているそうです。

○情報ではこの競技場にはヒアリンググループ席があり、その座席にヒアリンググループマークが付いているそうです。

※「ヒアリンググループマーク」は、補聴器や人工内耳に内蔵されている磁気誘導コイルを使って利用できる施設・機器であることを表示するマークです。このマークを施設・機器に掲示することにより、補聴器・人工内耳装用者に補聴援助システムがあることを知らしめ、利用を促すものです。(全難聴HPより)



3ページ 役員の役職名修正

×広報委員 ○広報担当

4ページ

神戸市部長竹内かつゑ様の原稿が、レイアウト崩れて読みにくくなっていました。改めて修正後の全文を掲載します。

「私の趣味いろいろ」中学時代はブラスバンドと陸上に明け暮れ、高校は水泳部。社会人になってからもチームを作り、マスターズなど競技に出場していましたが、40代で太極拳にはまり、次は60の手習いよろしくゲートボールを始めたのが4年前。巷では、手話＝ろうあ者のように、ゲートボール＝老人スポーツと認識されているのが少し残念。自分だけでなく5人のチームメイトが助け合いながらゴールを目指すのが醍醐味。

これからもいくつの趣味が増していくのかそれも一つの楽しみです。

6ページ 全難聴女性の集い開催報告&感想

三重県協会の名称が出てくる箇所を、「三重県難聴・中途失聴者協会」に統一

8ページ 令和2年度集い&研修会の予定 (中止の為、修正箇所省略)

第43号は、修正したものを全難聴ホームページにアップしました。
深くおわび申し上げますと共に、今後全役員で注意して校正してまいります。

全難聴女性部 役員一同

地域の活動より

全難聴女性部 事務次長 片山ひろみ

京都府 『Zoom 会議の実践体験記』

京都府中途失聴・難聴者協会では、コロナの緊急事態宣言により通常予約できていた部屋が使用不可となり、更に多人数で三密の心配も伴うため理事会の中止を余儀なくされました。

京都府は縦長の地形で、北部(舞鶴辺り)から南部(宇治辺り)まで広範囲にまたがる支部を持つ協会として、これまでから遠隔情報保障への関心度が高まっていたのです。なので、今この時にこそ試してみる良い機会と捉え、実現に向けて滝野会長の積極的な引っ張りのもと皆が動き始めました。

幸い「パソコン文字通訳を考える会・京都」という、日々研鑽を積み実力蓄積に余念のない要約筆記者のグループの存在がありました。筑波技術大学で研究に邁進されている方から教わるために、東京まで出向かれた努力と実力を兼ね備えた持ち主です。

こうしたことから、大きな影響を私たち難聴者に意欲が芽生える形で与えてもらえました。

最初は、4月下旬に難聴者の2~3人がZoomの操作について教わり、そこから徐々に6人が10人になるなどして学ぼうとする関心が広がって行き、疑問点を繰り返しても答えてもらえるなどして、6月下旬には理事会開催が実現できるまでに成長を遂げることができました。年齢とは無関係で、要はやる気次第であることを示せた結果を嬉しく思います。

<Zoomについて>

↓5人で、チャット(右側)とホワイトボード提示

オンライン会議の中でも参加者側で複雑な設定なしで通信が安定していることから、難聴者向きではないでしょうか？

☆有料版と無料版があり、無料なら2人までは時間制限なしで、手話やホワイトボードを使う、チャットに書き込むなどして難聴者同士でのやりとりも可能です。けれど協会として三役会議や理事会など、人数にこだわらずやり取りを時間制限なく自由にするためにも管理人を決めて有料版を使っています。





↑2人で、チャット(右側)と captiOnline (左側) の音声認識で。

当日の会議に参加者へホストから予めミーティングの招待として入室のために必要なパスワードや ID、あるいは URL で入れるようにお知らせが届きます。ホストは手間がかかりますが、交代もできるように何人かが方法を学んでいます。

遠方同士でも自宅から参加でき、顔を見ながら話せて要約筆記も表示されます。まさにオンラインで、これ

これまでになかった新世界が開けた心境に陥っています。

スピーカービューで要約筆記画面を固定すれば、左側に要約筆記の画面が、又右側には参加者の画面が出ます。この間にある縦線にマウスをあてて左右に動かして大きさの調節ができます。司会者は左右の動向に目配りが必要。各自マイクをハウリング防止のためミュートにしておき、自分が話す段になったら解除します。発言は挙手して指名されたら名乗ります。

こうした操作は、とにかく慣れることが一番なので、練習も含めて場数をふむことが使いこなせることに結びつくのだと確信中です。

慣れてきたら、今度は協会の captiOnline の部屋へ入室します。すると、左側に captiOnline が、又右側に参加者の画像が表示されます。これは音声認識が使えるので2人とかでも可能ですが、誤変換が多く訂正は可能でも、自らこれをやっていたのではタイムロ



グが生じてしまいます。誤変換があっても、おおよその意味が掴めれば、役立つ場合もあるでしょう。 ※captiOnline (キャプションライン) オンラインで文字通訳を行えるウェブアプリケーション

あれこれ試しましたが、結局は、要約筆者に文字表示(修正もしていただきます)で助けてもらうのが最も良いという結論です。(上の写真)改めて、要約筆者は、私たちにとってなくてはならない存在であることを実感中です。

全要研ニュースに掲載されていた OHC 投影による手書きでの方法も取り入れられれば要約筆者の活躍の場が広がります。

Zoom をやり始めた当初からほとんど、要約筆者にはボランティアでお世話になっていたもので、一日も早く本来の派遣制度に組み込まれるようにと訴えてきた結果、9月上旬から制度化される事が7月下旬に決定したのです。それまでに研修を積み重ねて遠隔情報保障に備えていただけることになり、とても嬉しく時流に乗っている実感で感動しています。

事務局だより

1、第20回「関東ブロック女性の集い研修会 in 埼玉」について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となり、実行委員長の磯島様からお知らせがありました。実行委員長様はじめ、関係者の皆様には色々とお手数をおかけしました。

2、益田市難聴者協会（島根県）は7月の総会で全難聴女性部に窓口で加入されました。

—ありがとうございます—

令和2年7月8日

関係者 各位

全難聴女性部 第20回「関東ブロック女性の集い&研修会 in 埼玉」
開催中止のお知らせ

実行委員長 磯島都子

梅雨空のうっとうしい季節が続いております。皆様におかれましては、いっそうご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度の豪雨の被害に遭われた方々には、お見舞い申し上げます。

さて、4月に延期のお知らせをいたしました。コロナ感染予防、自粛解除になり、ほっとしたのもつかの間、予想された第2波が拡大しております。第1波が自粛をしながら、落ち着くのに、3か月かかったことを考えると、第2波の拡大は終息の予想もできず、不安はぬぐえません。

様々なリスクを考えた時、実行委員会で検討し、中止を決断いたしました。

笑顔で栃木のひと時を過ごしていただきたかったのですが、とても残念です。いつの日か皆様にお会いし、楽しい時間を共にできる日が一日も早く来ることを願っております。

すでに、ご参加をお申込みいただきました皆様には、本当に申し訳なく思っております。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

令和3年度役員会・県部長会・総会の日程

日時 令和3年7月2日～4日（金・土・日予定）

場所 京都市聴覚言語障害センター（予定）

○その時の社会情勢によって変更はありえます。

あらかじめご了承ください。

○令和3年度は、役員改選の年です。

役員の立候補をされる方は、事務局までお知らせください。



皆様からの情報、投稿をお寄せください。

また、ご意見、ご要望がありましたら、事務局まで
お願い申し上げます。

事務局長：佐藤緑 FAX 03-3889-1031

メール tori72520@gmail.com

